

蓮

水

忘れじの草原に深い深い井戸があり 緑色の錆を帯びた一匹の蜥蜴が眠っている
私は時々綱を伝って井戸の底へ降りて行き 蜥蜴の錆を剥がして口に含む
それはなんの味もしない だがどうだろう 急に井戸の中に水が満ちてくる
水は私の体を運び どことも知れぬ場所へと押し流して行くのだった

言葉

言葉は毒だ 大勢の人を殺した
言葉は棘だ 目の前の人の胸を抉った
私が嘆いていると 誰かがやってきて言った
言葉は水だ 人と人のあいだを満たす
以来私は言葉を紡ぐことを覚えた